

KOCHI ROTARY CLUB

2024
2025

SINCE 1937



週報



Weekly report 第3618回 2025年 1 月 7 日 2025年1月14日発行

● 副会長挨拶

皆さん、あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

中島会長がお休みなので、私の自宅のパソコンに事務局からメールを入れてくれていたようですが、毎日パソコンを開ける週間がないものですから、ここへ来て聞いてそうですね。今年は思いやられるなという感じです。

年末年始、9連休の方が多かったと思うんですが、これだけ休みが長いと持て余します。ゴルフに行ってもせいぜい1回か2回でしょうし、あまり寒いときは行きたくないし、結局、家でゴロゴロすることが多いのではないかと思います。私も



孫と遊ぶかと思っていましたが、孫が風邪を引いたりして、9日間、何をしたらよく覚えていない感じです。

今日は7日、朝、七草粥を食べてきましたが、家内が言うには七草も去年より100円高い。そんなことよく覚えているなと、1年前の野菜のちょこっとした値段を、ほんとかなと思うのですが、それだけ物価がどんどん上がっているということでしょう。

今年もいろんなことが起きるかもしれません。新年早々の去年の能登のような災害はなかったのですが、異常気象は今年も続くと思います。皆さんもお身体に気をつけて平穏な1年になりますようお祈り申し上げます。どうか今年1年、よろしく願います。



■ 本日のプログラム [1 月 14 日]

ゲストスピーチ

金融庁総合政策局参事官

松島 研 氏

「Make Kochi Great!」

会 長	中 島 和 代
副 会 長	宮 田 速 雄
幹 事	入 交 英 太
副 幹 事	松 崎 郷 一 郎
会報責任者	岡 内 聡 典

● **ロータリーソング**「君が代」「四つのテスト」

● **幹事報告**

- ・1月のロータリーレートは1ドル157円です。
- ・ガバナー月信1月号を回覧します。
- ・高松グリーンRCよりの例会数変更、及び「ロータリーの友」よりの次年度のヒョウの募集の連絡をホワイトボードに掲示します。
- ・年末にお願いしたアンケートに、多くの方のご協力ありがとうございました。今後、これを参考に検討を深めてまいります。
- ・本日例会終了後、理事会を行います。



● **ゲストスピーチ**

ロータリー奨学生としていただいた宝物

高知大学教育研究部医療学系連携医学部門医療学予防医学・
地域医療学分野（環境医学）

特任助教 安光ラヴェル 香保子 氏

私の両親は高知県出身ですが、私は大阪で生まれ、父の仕事の関係で5歳から8年間インドネシアに住み、その後、社会人になるまでは東京で過ごしました。大学卒業後はソニーに勤めていましたが、国連など国際的な仕事に就きたいという夢を叶えたくて、会社を退職し、ロータリーのプログラムでオーストラリア国立大学大学院で学びました。その後、紆余曲折を経て、アメリカ、スウェーデンなどトータルで20年ぐらい海外で過ごし、2010年から高知に住んで高知大学医学部で教員をしています。



インドネシアに暮らして、私が最初に覚えたインドネシア語は「お金を恵んでください」という言葉でした。私と同年ぐらいの子どもが、手を出して近づいてくる。そういったことが日常茶飯事でした。その後、反日暴動があり、私たちもおにぎりを作って家の一番奥の部屋に隠れて、暴動が治まるまで待った経験などもありました。暴動後、社宅や日本人学校は高い塀や鉄条網、あるいはガードマンなどに守られていましたが、鉄条網越しにインドネシアの子どもたちと会話をしたりする中で、インドネシアをふるさとのように思う気持ちが育つとともに、貧富の差に関して自分ができることはないか。あるいは、人種や文化が違って通じ合うものがあることなどを学びました。国際的な仕事がしたいという気持ちの根底には、このインドネシアでの日常があると思っています。

大学の後半に、ロータリーの奨学生のオーストラリア人の友人ができました。当時、オーストラリアは国内では白豪主義をなくし、国外ではAPECを推進してアジアの一員として、プレゼンスを高めようとしていた時期だったこと。また、日本がオーストラリアにとって、第一の貿易相手国だったこともオーストラリアに興味を持つ要因の一つでした。そこ

で、高知RCの面接を受け奨学生となりました。奨学生については、財政的な支援の他、欧米では奨学金をもらうために選抜をくり抜けてきた人物という保証書のような意味合いもあったのか、その後すぐにオーストラリア国立大学大学院の合格通知をもらいました。

30年前の今ごろ、阪神・淡路大震災直前に日本を発ち、シドニー経由でキャンベラに向かいました。叔母家族がオーストラリアの田舎町であるウォガウォガに住んでいたため、父と一緒に会いにいたり、楽しいスタートを切りました。シドニーからキャンベラへは小さいプロペラ機で行きました。当時のキャンベラの人口は30万人程度、現在は48万人ほどで空港も大きくなっています。

キャンベラシティRCでは、月に1回、定例ランチに伺う他、たくさんのロータリアンと家族の方々に温かくサポートしていただきました。特にバーナードご夫妻にはほんとうによくしていただきました。お父さんとは毎週テニスをして、お母さんには刺繍や料理を教えてもらったり、オーストラリアの歴史や文化についても学び、今では両親のような存在です。

キャンパスでは留学生同士、あるいは日本人だけで集まったり、それなりに楽しく、オーストラリア以外のことを知る機会にもなりました。大学院での勉強は、英語力がない中、膨大な英語での課題があり本当に大変でしたが、お休みにはヒッジの毛刈り体験やテニスの全豪オープンやミュージカルにつれて行っていただいたり、ビーチでの夏のクリスマスを味わったりしました。やはり、本当のオーストラリアを見るのは、ロータリアンのご家庭を通じてということが大きかったように思います。

留学して1年目、第二次世界大戦が終わって50周年というときに、ロータリーでアンザックデーという忘れられない催しが行われました。これは、毎年4月25日に、第一次大戦中の1915年、ガリボリの戦いで勇敢に戦った兵士を讃え、追悼する日となっていて、この日、3名のロータリアンの戦争体験を聞くことができました。戦後、イギリスとドイツから移民してきた2人によるヨーロッパでの戦争体験と、3人目は戦争捕虜だった方で、日本軍の捕虜収容所でのお話



でした。50年経っても消えない心の傷とか「許す、でも忘れない」と何回も繰り返す言葉に、ただただ圧倒されました。そして、自分が生まれる前に起きた出来事について、私はどうしたらいいのかという無力感と彼の心の叫びに触れて涙が流れて、翌日は寮から出られなかったことを記憶しています。今、振り返ると戦争捕虜だった方がいらっしゃるにも関わらず、私を受け入れてくださったキャンベラシティRCには、本当に感謝しています。

この体験の後、私の出した答えは、歴史でもニュースでも、とにかく自分で考え、自分で動いて多面的に物事を捉えること。そして、小さくても良いので日本とオーストラリアを結ぶ架け橋になろうということでした。留学時代に学んだ英語の慣用句の中に「相手の靴をはく、相手の立場に立って考える」というものがあります。歴史や異文化について考えるときにも、このときの教訓が生きていると思います。

小さな架け橋の実現のために、2010年から高知に住み始めて以来、私が所属している、いの混声合唱団とオーストラリアのアデレードフィルハーモニア合唱団との合同コンサートを2011年に開催しました。先方の合唱団員の家に、いの混声合唱団員がホームステイさせていただいたり、何カ月も前から楽譜を交換し合って、アンコールでは「ふるさと」を歌いながら、感極まって涙する人もいました。このコンサートの5カ月前に東日本大震災が起これ、アデレード側が配慮してくださり会場で募金を集め赤十字に寄付をしました。1回限りのコンサートのつもりだったのですが、第2回は高知でという声が挙がり、2014年に開催、オレンジホールが一杯になるほどの盛況でした。当時、いの混声合唱団にALTのイギリス人の団員がいて、次はイギリスでという話になり3回目を開催。小さな架け橋がイギリスにも架かっ

たように感じました。

仕事の方も、現在勤務している高知大学医学部環境医学教室では多くの留学生や、外国人研究者を受け入れており、彼らの研究や日々の生活など、私がオーストラリアで受けた温かいサポートの恩返しができればという思いで彼らと接しています。コンゴから来た米山記念奨学生の2人も、私たちの教室から博士号を取って飛び立っていきました。

現在は、環境省が行っているエコチル調査というものに携わりながら、ヨーテボリ大学との共同研究を続けるほか、医学科2年生には英語の授業も行っています。学生さんたちには、今はオンラインでいろんな情報を得ることができるけど、やはり実際に人と会って、その場の雰囲気を感じることは留学して住んでみないと分からない体験だから、とにかく若いうちに海外に出て、いろいろな価値観をというふうに伝えています。

私が奨学生となっていたいただいた一番大きな宝物は、ロータリーファミリーができたことです。バーナードご夫妻は、その後、私がアメリカに住んだときにも会いに来てくれたり、日本にも来てくれました。今でも頻繁にメッセージをやり取りしています。また、留学当時に知り合った台湾人のサムとは、バーナードファミリーの一員として姉妹のような関係になって、家族ぐるみでお付き合いをしています。他にもロータリー奨学生として知り合った方々も多くいます。

今回の卓話を機会に、留学時のことやその後のことを思い出して、改めて身が引き締まる思いで2025年のスタートを切ることができました。そして、ロータリーの皆さまに助けていただいた恩返しとして、新たなふるさととなった高知とオーストラリアだけでなく、世界を結ぶような小さな架け橋を少しでも多く架けていきたいと思っています。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知南RC	1月16日	新年夜間例会(阪)	高知中央RC	1月16日	新年祝賀夜間例会(城)
高知西RC	1月17日	新年夜間例会(三)	高知北RC	1月20日	休会(三)
高知ロイヤルRC	1月21日	新年夜間例会(高)	高知東RC	1月22日	職場例会(阪)
高知南RC	1月23日	職場例会(阪)	高知北RC	1月27日	新年家族合同夜間例会(三)
高 知 R C	1月28日	職場例会(三)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザ クラウンパレス新阪急高知 (高)…高知プリンスホテル

😊 ニコニコ箱 【敬称略】

- 安光ラヴェル香保子 お車代をニコニコへ。
- 中澤 陽一 あけましておめでとうございます。年賀状をいただいた方へのお礼とともに、新年最初のニコニコをします。
- 杉本芙美子 新年おめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。
- 中田 由季 おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。主人の誕生日にお花をお手配いただき、年始から華やかな気分で過ごすことができました。ありがとうございました。
- 安光 保二 娘が卓話の機会をいただきました。感謝の気持ちを込めてニコニコです。
- 森田 陽介 誕生日お祝いありがとうございました。今年もよろしくお願いします。
- 水谷 太一 本日は誕生日をお祝いいただきありがとうございます。素敵な仲間にもまれ、笑顔とともに新しい1年を向かえられることをとても幸せに感じています。今年もロータリークラブの活動を通じてよりよい社会づくりに励んでまいります。これからもニコニコで頑張ります。ありがとうございました。
- 細田 長司 誕生日をお祝いしていただきありがとうございます。72歳になり引退を考えていたら、隣に一回り上の方がおられました。まだまだお元気です。私ももう少し頑張らねばと考え直したところです。
- 灰谷 充史 お誕生日を祝っていただきありがとうございます。日々前進、今年も挑戦する1年にしたいと思います。
- 竹下 篤範 誕生日を祝っていただきありがとうございます。巳年生まれ7回目の干支です。皆さまの邪魔にならないように本年もどうかよろしくお願いします。
- 西山 彰一 誕生日のお祝いありがとうございます。健康で古希を迎えることができ、心より感謝しております。
- 岡 亮助 誕生日を祝っていただきありがとうございます。61歳になります。
- 西山 俊彦 家内の誕生日を祝っていただきありがとうございました。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	マイキャップ	出席率
1月 7日	(-5)86	57	22	2	72%
12月17日	(-6)86	58	11	11	86%
12月24日	(-7)86	54	15	10	79%

● 累 計 額 [1月7日現在]

ニコニコ箱	544,850 円	ロータリー ^{さんさん} 奨励基金	127,618 円	ポリオ募金	264,600 円
-------	-----------	----------------------------	-----------	-------	-----------

■ 次週のプログラム [1月21日]

ゲストスピーチ
一般社団法人 こうち観光ネットワーク
代表 岡林 雅士 氏
「一社こうち観光ネットワークの目指すものとは」

創 立
例 会 日
例 会 場
事 務 局

E - m a i l
HPアドレス

昭和12年10月

火曜日 12:30~13:30

三翠園ホテル TEL(822)0131

高知市本町3丁目3-39 高知放送南館8階

TEL(824)8660 FAX(824)2529

shinairc@joy.ocn.ne.jp

http://www.221.ne.jp/kochirc/